

# 日本植生史学会ニュースレター

No.21 August 25, 2010

第25回日本植生史学会大会のご案内(第2報)、事務局移転のお知らせ、学会ニュースなど

## 第25回日本植生史学会大会のご案内(第2報)

### ◆日時

- 11月27日(土) 午前：幹事会・評議員会  
午後：公開シンポジウム・奨励賞授与及び受賞記念講演・懇親会  
11月28日(日) 午前・午後：一般研究発表(口頭・ポスター)・総会

### ◆会場 名古屋大学野依記念学術交流館(名古屋市・東山キャンパス地区)

### ◆主催 日本植生史学会・名古屋大学年代測定総合研究センター・名古屋大学文学研究科

### ◆大会実行委員 中村俊夫(委員長)・山本直人・南 雅代・森 勇一・工藤雄一郎・西本 寛・奥野絵美・小田寛貴・宮田佳樹・大森貴之・近藤 敏・藤井理恵

### ◆費用(費用はすべて当日徴収になります。金額はすべて予定です。)

参加費： 一般会員・非会員：3000円 学生会員：1000円(要旨集代を含む)

懇親会費： 一般会員・非会員：5000円 学生会員：3000円

### ◆宿泊 名古屋駅周辺に宿泊施設は多数ありますので、各自、お早めにお申し込み下さい。

### ◆大会プログラム

#### ○11月27日(土)

9:00~10:30 幹事会(会議室), 11:00~12:30 評議員会(会議室)

12:00~ 受付

13:00~17:00 公開シンポジウム

テーマ「東海地方における里山林の成立とその利用」

オーガナイザー 森 勇一(金城学院大学)・齊藤 毅(名城大学)

趣旨：今からおよそ500万年から200万年前に堆積した河川成堆積物で構成された東海地方の丘陵地には、シデコブシやハナノキ・イヌナシなどをはじめ東海丘陵要素と呼ばれる植物を含む里山林が成立している。こうした里山林の成立に、ヒトがどう関わってきたか、近年、注目を集めている「里山の生態学」について概観する。

時代をさかのぼり新第三紀から第四紀にかけての植物相について、花粉および大型植物化石を用いた研究法と、その成果から得られた里山林の原型を考える。次に、先史～歴史時代のころ、ヒトが里山の森林資源を建築材あるいは生活道具としてどう選び、どう利用してきたか、遺跡調査から得られた情報をもとに追究する。やがて、里山林は江戸時代から明治・大正・昭和を経て今日に至る間に大きく変貌し、今やヒトはこれを守り育てる必要性に迫られている。そのあるべき姿について考察する。

基調講演 東海地方の里山林—東海丘陵要素の植物を中心に 広木詔三(愛知大学)

話題1 新第三紀の花粉化石と環境変動 齊藤 毅(名城大学)

話題2 植物化石からみた暖温帯落葉広葉樹林の歴史 百原 新(千葉大学)

話題3 歴史時代における木材資源利用 樋上 昇(愛知県埋蔵文化財センター)

話題4 21世紀の里山のありかた 伊藤俊哉(住友林業)

### 総合討論

17:00~17:30 奨励賞授与ならびに受賞記念講演

18:00~20:00 懇親会

○11月28日(日) (以下は予定です。個人発表申込み受け付け後、プログラムを作成し郵送します。)

- 9:30～ 受付
- 9:45～11:30 口頭発表
- 11:30～13:00 総会・昼食
- 13:00～14:30 ポスター発表
- 14:30～16:15 口頭発表

◆参加及び一般研究発表の申込み

一般研究発表については、A「生態、古生態、環境変動」、B「人と植物の関係史」、C「分類・系統、生物地理」のテーマ別に、口頭発表とポスター発表を募集します。希望者は10月12日(火)までに下記要領で申込みの上、同じく下記要領にて講演要旨を作成し、10月25日(月)必着でメールにてお申込み下さい。

口頭発表：時間は15分、使用器材はパワーポイントのみ。申込み多数の場合、プログラムの関係でポスター発表にまわってもらうこともありますので、ご了承下さい。

ポスター発表：ボードの大きさは幅90cm、高さ180cm(変更があった場合は発表者にご連絡します)。

◆申込締切

- |                       |                               |
|-----------------------|-------------------------------|
| 一般研究発表                | 10月12日(火)必着                   |
| 講演要旨                  | 10月25日(月)必着                   |
| 大会参加・懇親会参加            | 11月8日(月)必着                    |
| 年代測定総合研究センター施設見学ツアー参加 | 11月8日(月)必着(先着順で定員になり次第締め切ります) |

◆申込先：下記へお申込み下さい。

メール：taikai25@hisbot.jp 第25回大会実行委員会宛

◆申込方法：次の事項を上記の申込までご連絡下さい。メールの場合、タイトルを「第25回大会申込み」として下さい。メールアドレスをお持ちでない方は、郵送にて下記送付先までお送り下さい。

①氏名・所属、②連絡先(住所、電話番号、E-mail)、③会員種別(一般会員/学生会員/非会員)、④懇親会の参加/不参加、⑤28日昼食の弁当の要/不要、⑥一般研究発表の有無

なお、一般研究発表をされる方は、以下の項目も併せてご連絡下さい。

⑦発表形式(口頭/ポスター)、⑧発表タイトル、⑨発表者・所属(複数の場合は講演者を明記のこと)

⑩発表分野(A「生態、古生態、環境変動」/B「人と植物の関係史」/C「分類・系統、生物地理」)

申し込み時の内容でプログラムが作成されますので、変更がないようにご注意下さい。

また、下記の年代測定総合研究センターの施設見学ツアーを希望される方は、⑩に希望される回を記載して下さい。先着順ですので、ご希望の回にお答えできない場合がありますが、その際は直接ご連絡致します。

◆講演要旨執筆要領

講演要旨は次の要領に従い作成し、提出して下さい。講演要旨はPDFファイルにて上記メールアドレスに送付して下さい(MS-Wordファイル不可)。PDFでの送付ができない場合のみ、印刷した原稿を郵送でお送り下さい。

原稿は、A4判白紙を縦書き・横書きで使用します。初めに和文で表題と著者名(所属)を、次に英文で著者名と表題を書き、1行あけて本文を始めて下さい。行数と1行の文字数は自由ですが、38行×45字程度を目安として下さい。本文に図表を入れることができます。余白は上下3cmずつ、左右2.5cmずつお取り下さい。枚数は2ページ以内とします。なお、提出いただいた原稿はそのまま印刷されます。

◆申込・講演要旨郵送先：〒464-8601 名古屋市千種区不老町B4-5(700) 名古屋大学文学研究科 山本直人宛

◆年代測定総合研究センターの施設見学ツアー

内容：名古屋大学年代測定総合研究センターの加速器質量分析計や試料調製室などを見学しながら、センターのスタッフが加速器質量分析計による<sup>14</sup>C年代測定法について解説します。

定員：定員30名(1回約30分で3回行います。1回の定員10名)

第1回：11月27日(土)11:30～12:00(大会初日、受け付け開始前)

第2回：11月28日(日)12:30～13:00(大会2日目、昼休み)

第3回：11月28日（日）16：30～17：00（大会2日目，午後の一般研究発表終了後）  
申込締切：11月8日（月）（先着順で定員になり次第締め切ります）  
申込方法：上記大会申込方法を参照して下さい。

◆ 大会に関する連絡先 お問い合わせ等は [taikai25@hisbot.jp](mailto:taikai25@hisbot.jp) 大会実行委員までお願いします。

## 事務局移転のお知らせ

2010年10月1日より，学会事務を大学生協学会支援センターに委託することになりました。これに伴い，事務局を以下の住所に移転し，各種受付先を変更します。

入会・異動・退会の申込み，バックナンバーの購入，メーリングリストアドレスの登録・変更は，以下の新事務局にご連絡下さい。

〒166-8532 東京都杉並区和田3-30-22 大学生協学会支援センター内 日本植生史学会事務局  
Tel：03-5307-1175 Fax：03-5307-1196 メールアドレス [hisbot@univcoop.or.jp](mailto:hisbot@univcoop.or.jp)

その他の連絡先は，以下の通りです。

連絡・問合せ，転載許可申請	庶務幹事 那須浩郎 <a href="mailto:hbmain@hisbot.jp">hbmain@hisbot.jp</a>
雑誌投稿，企業広告原稿の送付先	編集委員長 能城修一 <a href="mailto:hbjournal@hisbot.jp">hbjournal@hisbot.jp</a>
ホームページ問合せ，企業広告問合せ	広報・渉外幹事 佐々木由香 <a href="mailto:hbnews@hisbot.jp">hbnews@hisbot.jp</a>

## 植生史研究 PDF 公開・バックナンバーセット販売終了のお知らせ

「植生史研究」の PDF を，過去2年間に発刊された号を除いて学会 Web サイトにおいて公開し始めました。順次過去の号からアップロードします。またバックナンバー販売の業者委託と PDF 公開に伴い，バックナンバーのセット販売を9月末日で終了します。セット販売をご希望の方は早めにお申し込み下さい。

## 国立歴史民俗博物館 ぐらしの植物苑観察会のご案内

国立歴史民俗博物館のぐらしの植物苑では毎月講師を交えて，「観察会」を実施しています。申し込みは不要・参加無料です（ただし入苑料100円が必要です。高校生以下は無料です）。

時 間：13:30～15:30（8月は10:00～12:00） 場 所：苑内の東屋の前に集合

2010.8.28 [土] 第137回 「芸をする朝顔」（※開催時間10:00～12:00） 仁田坂英二

2010.9.25 [土] 第138回 「江戸時代のバラ」 御巫由紀

## 学会ニュース

### ●会費納付についてのお願い

2009年12月末に会費の振替用紙を送付しました（2010年度会費をすでに納付していただいている方には同封しておりません）。2010年度会費の早期納付にご協力下さい。また，同封の振替用紙にて納付状況をご確認の上，2010年度分と未納分を合わせて納付して下さい。

現在2007年度から4年分の会費を滞納している方が6名おります。この6名については，会費納入の呼びかけに応じない場合，2011年度大会での承認を経て除名となります。また，2008年度から3年分の会費を滞納している方が11名おり，この方々には18巻1号から会誌発送を停止しております。未納会費の早期納付をお願いします。未納会費の納付が確認でき次第，会誌を送付致します。

なお，2010年10月1日から学会事務が大学生協学会支援センターに委託されるのに伴い，一般・学生会員の会費の納付は郵便振替用紙のみでの納付（大会等での会計幹事への支払いは不可）となります。よろしくお願ひします。会費納入状況を確認したい方は [hbmain@hisbot.jp](mailto:hbmain@hisbot.jp)（会計幹事宛）にご連絡下さい。

日本植生史学会会費（2010年度より）

一般会員：6000円，学生会員：3000円，団体会員：8000円，賛助会員：一口15,000円とし一口以上とする。

会費納付先：郵便振替口座 00980-8-70087 加入者名 日本植生史学会

### ●メーリングリスト不達アドレスのご連絡

以下の会員の方は，メールアドレス変更のため，メーリングリストによる連絡がつかなくなっています。お知

り合いの方は、広報幹事 (hbnews@hisbot.jp) に新アドレスをご連絡いただくよう、お声掛けをお願いします。

金 帛範, 小池裕子, 須田大樹, 仙波靖子, 滝本秀夫, 吉田真弥

### ●第49回(2010年度第4回)幹事会議事要録

日時: 2010年8月1日(日) 13:30~17:00

場所: 中央大学理工学部教養生物学実験室2502教室

出席者: 南木会長, 西田事務局長, 那須庶務幹事, 工藤会計幹事, 佐々木広報・渉外幹事, 能城編集委員長, 近藤行事委員長

#### 報告事項

1. 会員動向: 2010年7月30日現在の会員数が報告された(名誉会員3名, 賛助会員1社, 一般会員361名, 学生会員33名, 団体会員8団体)。
2. 会費長期滞納者への対応: 2007年度より4年分会費を滞納している会員が6名いることが報告され, 次号発行時に合わせて最終督促状を送付することにした。
3. 植生史研究の編集状況: 第18巻第1号を6月20日付けで刊行したことが報告された。第18巻第2号を9月頃に刊行できるように準備する。
4. 第31回談話会報告: 第31回談話会「植生史解明のための室内実験法4-初心者のための遺跡出土木材の切片作製と同定-」を2010年7月17-18日に中央大学で開催した。参加者20名(会員8名, 非会員12名)で定員に達し, 好評だったことが報告された。
5. 植生史研究のPDF公開: 植生史研究のバックナンバーをPDF化したことが報告された。過去2年前(第15巻第2号)までのPDFを学会HPで順次公開していくことにした。
6. メーリングリスト不達アドレス: 会員の異動などに伴い, メーリングリスト不達アドレスが増加していることが報告された。メーリングリスト登録用のメールアドレスの変更をニューズレターで呼びかけることにした。

#### 審議事項

1. 第25回大会について: 第25回大会の準備状況が報告され, 次号のニューズレター(メーリングリスト)で大会第2報を発送することにした。
2. 第26回大会について: 第26回大会は, 青森県立郷土館の伊藤由美子氏, 青森県埋蔵文化財調査センターの杉野森淳子氏, 弘前大学の上條信彦氏らに実行委員をお引き受け頂いたことが報告された。会場は弘前大学。
3. 第32回談話会について: 第32回談話会を検討し, 「植生史解明のための室内実験法5-初心者のための大型植物遺体分析法-」を来年7月に中央大学で開催することにした。
4. 奨励賞について: 奨励賞の応募が2件あったことが報告された。
5. ニューズレターについて: 次号8月25日配信予定のニューズレター掲載内容を検討した。
6. 賛助会員の規程・内規の改訂案について: 学会費値上げに伴い, 賛助会員の会費と特典内容を改めて検討することにした。
7. 名簿の発行について: 個人情報保護の観点から名簿発行の必要性を検討し, 次回評議員会と総会で審議することにした。
8. バックナンバーについて: バックナンバー販売の業者委託とPDF公開に伴い, セット販売を終了することにした。
9. 学会事務委託について: 2010年10月1日より学会事務を大学生協学会支援センターに委託することが決定した。

### ◆第7期日本植生史学会役員(任期: 2009年10月1日~2011年度大会)

会長: 南木陸彦

評議員: 植村和彦, 鈴木三男, 高原光, 松下まり子, 百原新

幹事: 西田治文(事務局長), 那須浩郎(庶務), 工藤雄一郎(会計), 佐々木由香(広報・渉外)

編集委員会: 能城修一(委員長), 大井信夫(副委員長)

行事委員会: 近藤敏(委員長), 藤井理恵(副委員長)

会計監査: 江口誠一

#### 事務局:

●連絡・問合せ 庶務幹事 那須浩郎 〒240-0193 神奈川県三浦郡葉山町(湘南国際村)総合研究大学院大学葉山高等研究センター TEL:046-858-1598 FAX:046-858-1544

●入会・異動・退会の申込み(9月30日まで) 会計幹事 工藤雄一郎 〒285-8502 千葉県佐倉市城内町117番地国立歴史民俗博物館研究部考古研究系 工藤気付 日本植生史学会 TEL:043-486-4266(直通), FAX:043-486-4299(考古研究系共通) 庶務・会計: hbmain@hisbot.jp 会誌投稿: hbjournal@hisbot.jp

●NL編集・発行, メーリングリスト登録・変更(9月30日まで) 広報・渉外幹事 佐々木由香 hbnews@hisbot.jp

●10月1日以降の入会・異動・退会の申込み, バックナンバーの購入, メーリングリストアドレスの登録・変更

〒166-8532 東京都杉並区和田3-30-22 大学生協学会支援センター内 日本植生史学会事務局

Tel:03-5307-1175 Fax:03-5307-1196 メールアドレス:hisbot@univcoop.or.jp

●学会ホームページ <http://www.soc.nii.ac.jp/historbot>